



原崎市長から福井市長へ

3月5日に市長事務引き継ぎ式を行いました



福井崇郎 市長 就任のご挨拶

このたび、市政を担うこととなりました。約7万人の市民の命、財産、暮らしを守り、未来に向かって重責を担う覚悟を持つとともに、その責任の重さを痛感し、身が引き締まる思いを強くしています。市民の皆様信頼と期待に応えることができるよう、全力で市政運営に取り組む所存です。

福津市政をもっと身近に感じていただくためにも、市議会議員としての経験も活かし、市民の皆様との「声」をお聞きし、福津市政に期待する多くの思いを「形」にできるリーダーをめざします。

そして、暮らしを豊かに、稼ぐまちをつくっていきます。多様な市民の「挑戦」する心、ひいては未来を担う子どもたちの夢や情熱を支え、希望を持って暮らしていただけるまちを、皆様とともに描いていきます。

今、第一に取り組まなくてはならないのは、暮らしを豊かに

するまちづくりです。物価高など生活に大きな打撃を受けているかたがたの生活を守るため、市独自の支援策を実施するなど、スピード感を持って積極的な対応を進めてまいります。

20周年の節目の年を迎えた本市のさらなる発展に取り組みます。先人が築きあげた歴史とその魅力を継承し、多くのかたがたにわがまちへの愛着と誇りを深め、未来につながる住み良いまちをつくっていきます。

それは市民の人生のステージごとに適切な支援がなされるまちです。その実現のためには企業誘致など増収を導く稼ぐための施策などの財政の上手な舵取りが求められます。できない理由ではなく、できる方法を考えていく市役所へ。市政に経営感覚を持ち込み、稼げるまちを実現し、市民満足度を高めます。

今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

福井崇郎

原崎智仁 前市長 退任のご挨拶

3月5日で市長の役を降りしました。今は感謝の言葉しかございません。市長就任に際し自身の使命と心に誓ったことは、市代表の政治家として市民の傘となること。また、役所組織の長としてそれまでの行政経営に波紋を起こすことでした。就任当初、既にあつた行財政集中改革プランの主眼を、歳出カットから歳入確保に転換、対象とされていいた市施設・機関を残すための役所内意識改革や資金を呼び込むきっかけとなる市の宣伝活動等に奔走しました。さらには対話や熟議を行う市民力の開拓とこれに與る市政再生のための機関となる市未来共創センターの開設も叶い、今はおかげさまでと感謝の気持ちで一杯です。

引き続き、現下の市政には民間資金を呼び込む手腕が何より求められます。減税、給食費無料化、医療費無償化、市長給与カットなど掲げられた公約実現もありましょうが、早急なる民間資

金調達の取り組みを新市長に期待いたします。

自身も臨んだ3度目の市長選挙では、立候補者数が過去最大、しかし全投票率は前回から7%も低下、3千人強が減少したことを極めて冷静に分析しています。SNSの時代、テレビ新聞等オールドメディア含む発信・受信の双方サイドに、良識、教養、知識等のリテラシーが求められており、これを超える限り投票率向上は厳しいと考えます。私には、任期中の教育行政含む市政経営に寄せられた意見を調整した合意形成に力及ばず、少なからぬ市民の皆様を、希望に導くことができませんでした。新市長と市民の皆様には、何卒市政の理想を追求していただければと願います。想いは尽きませんが、多くの皆様に御礼申し上げます。2期8年の退任の挨拶とさせていただきます。本当に有り難うございました。

原崎智仁